




学年	教科等	単元等	活用アプリ
中1-3	外国語	表現する（話す）「現地特派員になって伝えよう」	Web会議ソフト
授業 内容	現地特派員になってオンラインで伝えよう		「現地特派員（別室、Web会議ソフト）」  <p>Hello, we are at Matsumoto Castle.....</p>
	<p>準備： <オンライン接続> ・教室（＝スタジオ）にある先生用の端末の画面をプロジェクタ等に投影する。 ・Web会議ソフトでオンライン会議を開始し、「現地特派員」の子供が別室から接続する。双方、カメラ・マイクをONにする。</p> <p>授業の流れ： <オンライン接続の前に> 1. 子供たちが各自、紹介したい地域の写真を用意する。 2. 紹介したい地域について「現地特派員」として伝えたいことを英文で考え、シナリオを作成する。シナリオの中に、1つ「スタジオからの質問」を入れる。（教室＝スタジオとみなす）</p> <p><オンライン接続> 1. Web会議ソフトで教室と別室を接続する。別室にいる「現地特派員」の子供は、紹介したい地域の写真をカメラの背景に設定する。 2. 「現地特派員」の子供が、「スタジオ」（教室）に向けてオンラインでシナリオに沿って伝える。「スタジオ」（教室）からは、子供が1名シナリオに沿ってあらかじめ用意された「スタジオからの質問」を伝える。 ※授業のはじめに、何人かずつに分けて実施することも可能です。</p>		「スタジオ（教室）」  <p>Are there many foreign tourists?</p>
サポータ おすすめ ポイント 	・データの準備は写真1枚のみなので、シナリオの作成や練習に注力することができ、選んだ写真を背景にすることで特派員になりきって伝えることもできます。 ・自分が話している様子が画面に映るため、身振り手振りなど伝え方の確認ができ、録画をすることで振り返りや評価の際に見直すこともできます。 ・地域や学校、修学旅行先の紹介、時事問題の取材など、多くの場面で活用ができます。		